

学校経営の基本

○ 学校は学ぶところ

○ 学校は楽しいところ

○ 学校は安全なところ

わかりあう
伝え合う
うなずき合う

【目指す教師像】 “教育のプロ”としての質的向上を図る

① 使命感と自覚を持ち、子どもと地域を愛する教師

② 共に学び合い、常に研修に励み、自信を持って指導に当たる教師

③ 社会や教育情勢に柔軟に対応できる教師

④ 個々の能力を生かし、協力してよりよい学校づくりをめざす教師

⑤ 広い視野に立ったものの考え方や高い倫理観を持った教師

学ぶ子ども

主体的に学び、表現できる子

【目指す児童像】

・めあてを持ち、よく考え、自分の意見や調べたことを表現できる子ども

・他の考えを認め、友達と共に高め合いながら学習に取り組める子ども

・基礎基本を確実に身につけ、学び方がわかり、それを活用する子ども

助け合う子ども

思いやりをもって生活する子

【目指す児童像】

・あいさつができ、誰とでも仲よくできる子ども

・正しい言葉遣いでお互いを尊重し、協力し合って、共に向上しようとする子ども

・善悪の判断ができ、人や物、自然を大切にできる子ども

健康な子ども

健康で体力向上を図る子

【目指す児童像】

・時間を守って規則正しい生活をし、健康的な生活をしようとする子ども

・めあてを持って、体力づくりや運動に取り組める子ども

・自分の安全を考えた行動をし、危険を回避できる子ども

1 思考力・判断力・表現力を向上させ、活用力を育成します

・わかる授業の実践（ねらいや評価規準が明確でそのための手立てを工夫した授業、教具やICT機器を活用した授業）

・学び方とノート指導の充実

・課題設定の工夫、多彩な体験の場の積極的な設定

・考えや意見を持ち表現する機会（交流）の充実

・論理的思考力の育成（プログラミング教育）

・活用力育成シートの活用

2 読解力・言語能力の育成を図ります

・言語能力育成のため国語科授業を充実

・読書タイムを増加、「おすすめの本」読破の奨励、学校司書・図書館を活用した授業実践

3 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善に向け校内研修の充実を図ります

・共通課題の解決に向けた現職教育の充実

・互いに刺激し合う授業研究の実施（互見授業）

4 基礎・基本の定着を図ります

・習熟や繰り返し練習する時間の確保

・パワーアップタイム（PT）の充実

・デジタル教科書、ミライード等の積極的活用

5 中学校との連携、家庭との連携を図ります

・中学校との連携・交流授業

・家庭学習の手引きの活用

6 豊かな体験学習を推進します

・地域素材、外部の教育資源の活用推進

・地域の幼稚園・保育園との交流

【評価の指標】

□学校評価のポイントUP

肯定的評価

「学校が楽しい」

90%以上

「授業がわかりやすい」

85%以上

「本を読んでいますか」

80%以上

1 あいさつ力を向上させます

・子どもも教師も元気で明るいあいさつをします。

2 「思いやりの心」の育成に努めます

・挨拶、返事、言葉遣い、礼儀の徹底（ソーシャルスキル、コミュニケーションスキルの意図的な育成）

・校内いじめ標語コンクールの実施

・ふれあい班活動での関わりを推進

・特別な支援を要する子との関わりへの重視

3 道徳教育のさらなる充実を図ります

・教育活動全体で重点内容を意識した実践

・別業を活用した道徳科の充実、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成

・授業公開、管理職や外部人材の活用

4 特別活動を重視し、なすことによって学ぶ充実感を味わわせます。

・学級の係活動の充実（PTの活用）、児童会活動、学校行事への主体的な参画

5 生徒指導の機能を生かした、教育環境づくりに努めます。

・賞賛し合える雰囲気、一人一人が活躍できる場と機会の設定

・善悪のけじめができ、安心して生活できる雰囲気づくり

・自分で決める、考える生徒指導の実践

6 情報社会を生きていく上での正しい判断力などを身につけさせます。

・外部講師を活用した講座やワークショップの開催

【評価の指標】

□学校評価のポイントUP

肯定的評価

「あいさつをしている」

80%以上

「誰とでもなかよく生活している」

85%以上

□不登校・保健室登校新たな出現「0」

□いじめ認知の場合未解決「0」

重大事態「0」

1 一人一人に応じた、規則正しい生活習慣を継続指導します

・生活リズムの指導と振り返り調査の実施（早寝早起き朝ご飯、歯磨き、身体の清潔）

・よい朝食の習慣化を指導

・コロナ禍の生活様式の確立

2 めあてを持ち主体的に運動する子を育成します

・教科体育の充実と体育の日常化

・運動身体プログラムの着実な実践

・陸上（持久走）、水泳、なわとびなど、個々の能力に応じた目標設定と指導・支援、さらには自己記録への挑戦、業間運動の実施

3 食育を充実させます

・学校栄養職員、企業の出前講座の活用、食に対する関心・意識を高揚

4 健康に関する指導を推進します

・むし歯の治療率の向上

・性教育、病気やケガ予防の指導の充実

5 危機回避能力の育成を図り、事故ゼロをめざします

・交通事故ゼロ…歩行と自転車の指導

・学校事故ゼロ…さらにケガを減らす

学習中の安全指導の徹底、潜在危険箇所の発見と除去

・不審者への対応…きまりの徹底と教員の対応の訓練

・防災・減災…危険回避行動能力の向上

・防犯意識の向上（外部講師の活用）

・保護者、見守り隊等との連携

・風評被害の絶無

【評価の指標】

□学校評価のポイントUP

肯定的評価

「運動している」

85%以上

□朝食摂取率 100%目標

□体力テスト目標の達成

今年度重点

(1) 生活目標

○ あいさつ

○ 時間を守る

○ 正しい言葉遣い

(2) 学びの基礎力・非認知能力向上

① 生徒指導の機能の充実（自己決定の場の確保 自己存在感・自己有用感を高める 共感的人間関係の構築）

② キャリア教育の視点での多様な学び（基礎的・汎用的能力※の育成）

※ 人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力

